

サステナビリティの取り組み

公正で誠実な企業活動を通じて「持続可能な社会の実現」と「企業価値向上」の両立を図り、企業としての社会的責任を果たしていきます。

サステナビリティ基本方針

シーシーアイグループサステナビリティ基本方針(抜粋)

私たちシーシーアイグループは、企業理念に基づき、すべてのステークホルダーと責任ある対話を行い、公正で誠実な企業活動を推進し、「持続可能な社会の実現」と「企業価値向上」の両立をめざし、社会的責任を果たします。

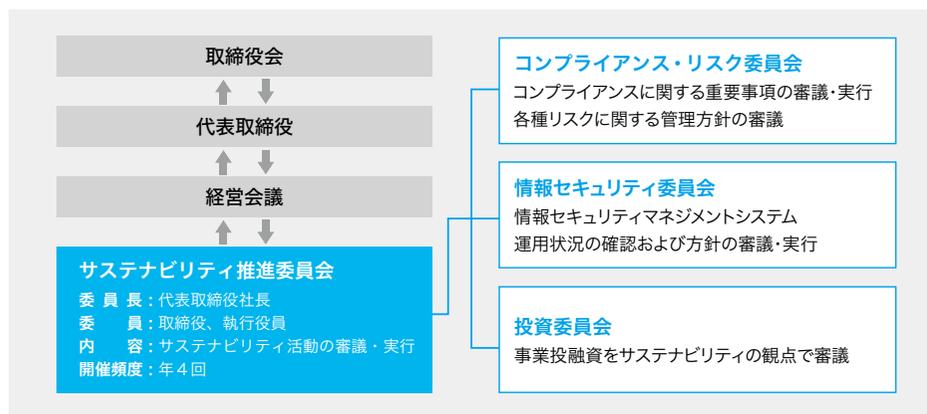
[シーシーアイグループサステナビリティ基本方針\(全文\)](#)

サステナビリティ推進体制

シーシーアイグループは、サステナビリティ活動を推進するにあたって、2022年4月に代表取締役社長を最高責任者とする「サステナビリティ推進委員会」を設置し、その下部組織として「コンプライアンス・リスク委員会」「情報セキュリティ委員会」および「投資委員会」の専門委員会を設置しました。定期的に委員会を開催し、各種の活動に取り組んでいます。

委員会の実施

- グループのサステナビリティに関する活動方針策定
- ESG、SDGs活動のモニタリング
- ステークホルダーへの情報発信と対話
- 社内浸透
- 取締役会への報告



社外からの評価・認証の取得

- 国際的な評価機関であるEcoVadis社による2023年のサステナビリティ評価において「Bronze Medal」を獲得
- 2023年「ぎふSDGs推進パートナー」登録制度にて「ゴールドパートナー」認定



教育の実施

- シーシーアイは、サステナビリティ経営を推進していくため、世の中の動向や当社の取り組み状況を知り、意識の向上に取り組んでいます。
- サステナビリティ基本知識研修
 - ガバナンス研修



サステナビリティ基本知識研修の様子(2023年4月)

参加型社会貢献活動の実施

シーシーアイは、従業員が自発的に参加できる社会貢献活動を実施し、従業員のサステナビリティ意識の向上に取り組んでいます。

- 関工業団地、迫間川付近清掃活動
- ペットボトルキャップを回収し、児童の医療支援に貢献
- 使い捨てコンタクトレンズケースを回収し、就労支援等に貢献
- 古本を回収し、児童の学習支援に貢献
- 日用品・食品を回収し、生活困窮者の支援に貢献
- 令和6年能登半島地震への支援(マッチングギフト)
(日本ケミカル工業(株)、下田エコテック(株)とともに実施)



関工業団地内清掃活動の様子(2023年12月)

シーシーアイグループのマテリアリティ

シーシーアイは、環境・社会・経済の変化や社会的課題を的確に把握、分析しサステナビリティ活動におけるマテリアリティ(重要課題)を選定しています。これらの課題を事業活動と結び付けるため、各部門のKPIとして設定し、世界の人々に安心・安全・快適な環境を提供し続けていきます。

ESG優先課題特定のプロセス



サステナビリティの取り組み

ESG優先課題と実績

達成率の凡例 ◎:達成率100%超 ○:達成率80~100% △:達成率80%未満

活動領域	重要課題	優先課題(2030年度までの具体的な取り組み)	2023年度KPIの達成状況	ESG	
事業活動	安心・安全・快適なモビリティ環境の提供	次世代モビリティ向け製品の開発	メンテナンス軽減製品の開発	○	E
		新たな技術を駆使した環境配慮製品、サービスの提供	制振・吸音材導入による住環境の向上 制振・吸音材導入による住環境以外の環境の向上 オイルバニッシュ(油脂分解微生物製剤)の拡販	○ △ △	E E E
	サーキュラーエコノミーへの移行	使用済製品の回収～再資源化のビジネスモデルの構築	廃棄LC、BF量(国内)の10%(1万kL)を回収、再資源化し活用	○	E
			使用材料の見直し・切り替え	○	E
		リサイクル可能な素材への切り替え(廃棄物の削減)	リユース事業の拡大	◎	E
			工場廃液量(2019年)の50%を再資源化(削減を含む)し活用する	○	E
	脱石油由来原料製品の開発	プラスチック削減の取り組み	○	E	
	健康、生活の質向上	特定化学物質、環境負荷物質の管理および使用の削減～使用ゼロ	量産化技術の確立	○	E
			工程等の見直しによる特定化学物質・環境負荷物質の使用ゼロ 環境問題を引き起こす事故・汚染ゼロ	○ ○	E S
	健康、生活の質向上	スポーツ振興等を通じて地域社会貢献活動の推進	文化・芸術・スポーツ活動への協賛	○	S
全社活動	CNの実現	Scope1、2対象CO ₂ 排出量 2030年度に2019年度比30%削減	CO ₂ 削減エネルギー対策プロジェクト活動	◎	E
		Scope3の算定、監視	グローバルのScope3 算定を実施	○	E
	多様な働き方の実現	従業員エンゲージメントの向上	エンゲージメントサーベイのスコア向上 多様性の実現 職場環境改善、制度の見直し	— (スコア集計見直し実施のため)	S
		業務可視化とデジタル化による生産性向上、ペーパーレス化	デジタル化による生産性向上、ペーパーレス化を推進	○	S
人権に対する取り組み	人権DDプロセスの構築	CSR調達ガイドラインに則した、人権DDプロセスの構築	○	S	
	サプライチェーンにおける人権の取り組み	サプライチェーンにおける人権の取り組みを推進	◎	S	

※上表は2023年度の実績を示す

TOPIC

サステナビリティ推進担当ミーティング

シーシーアイでは、2022年4月よりサステナビリティ経営の全社浸透を目的とした「サステナビリティ推進担当」による浸透活動を行っています。メンバーは各部署からの代表者20名程で構成され、月に1度「サステナビリティ推進担当ミーティング」を開催しています。ミーティングでは、サステナビリティについて理解、共感し、更に実践をしてもらうには、どのような浸透活動が必要なのかを個人で考え、自部署内での推進活動とそれにより得られた効果についてメンバーで共有しています。また、2023年度の目標として、従業員が自分の仕事がどのように社会課題解決に貢献しているのか理解できている状態をめざし、様々な教育を実施しました。



サステナビリティ推進担当ミーティング



各部のペーパーレス化の取り組みを共有